

会津の歴史にふれてみませんか



至田島

インフォメーション
 ◆開館/8:30 am ◆閉館/5:00 pm
 ◆入場締切/4:30 pm

鶴ヶ城天守閣・茶室麟閣 入場料
 <高校生以上> ADULT <小中学生> CHILDREN
 大人:510円 小人:150円

<鶴ヶ城天守閣のみ> <茶室麟閣のみ>
 大人:410円 大人:200円
 小人:150円 小人:無料

◆小学校就学前の幼児は無料です。
 ◆団体30名様以上1割引・100名様以上2割引となります。

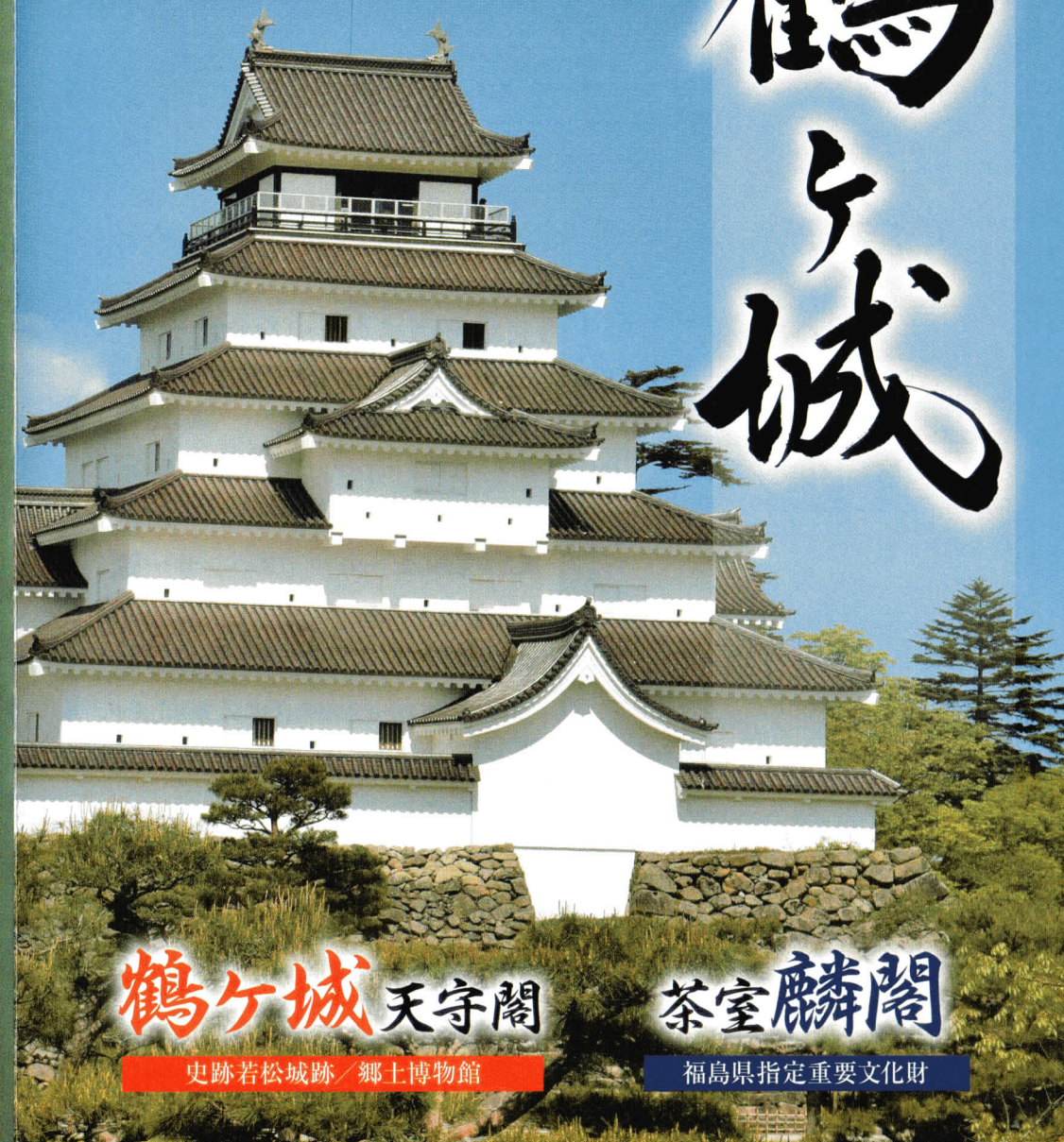
若松城管理事務所
 会津若松市追手町1番1号
 TEL.0242-27-4005 FAX.0242-27-4012
 くわしくは 鶴ヶ城 検索 クリック!



150

2018年は戊辰150年
 天守閣は全館が幕末・戊辰戦争特集

会津
 鶴ヶ城



鶴ヶ城天守閣

茶室麟閣

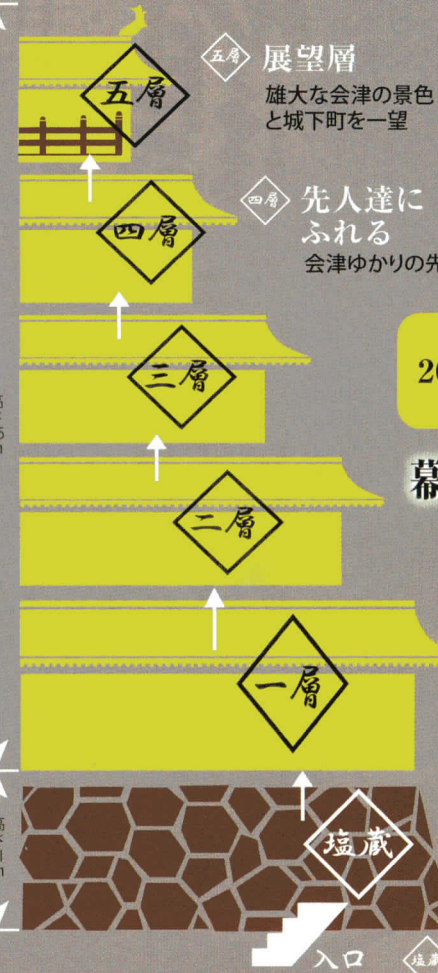
史跡若松城跡/郷土博物館

福島県指定重要文化財

鶴ヶ城で会津の歴史を楽しく学ぼう！

天守閣内は郷土博物館として会津の歴史や文化をご紹介します。

五層からの眺望



五層 展望層
雄大な会津の景色と城下町を一望

四層 先人達にふれる
会津ゆかりの先人達をご紹介します

2018年は 天守閣全体が 幕末・戊辰戦争 特集

幕末の会津を物語る貴重な資料を展示

- 孝明天皇からいただいた …… 「御宸翰」
 - 会津の名刀 …………… 「和泉守兼定」
 - 会津攻めに使われた …………… 「錦旗」
 - 威力を発揮した …………… 「スペンサー銃」
 - 降伏式に敷かれた …………… 「泣血氈」
 - 激闘を描いた …… 「禁門の変図屏風」
- ※資料保護のため期間を区切って展示します。

塩蔵として用いられた様子を再現
間近で見る石積みは圧巻

復元された南走長屋・干飯槽

干飯槽は鶴ヶ城内にあった11棟の槽の中で一番規模の大きかった槽です。文字通り「食糧庫」であったと考えられています。



VR 幕末の会津若松

総ワイド7.5mの3面マルチスクリーンで、ダイナミックCGで、何度も見たくなる！ 幕末の会津を体験！ マルチストーリー展開！

鶴ヶ城 禁門内にて上映

歴代城主の変遷

葦名氏 ASHINA	伊達氏 DATE	蒲生氏 GAMO	上杉氏 UESUGI	加藤氏 KATO	保科氏 HOSHINA	松平氏 MATSUDAIRA
(1189)1384 ↓ 1589	1589 ↓ 1590	1590 1601 ↓ ↓ 1598 1627	1598 ↓ 1601	1627 ↓ 1643		1643 ↓ 1868

1868年の会津藩の動き

1月3日 鳥羽・伏見の戦い始まる	8月22日 白虎士中二番隊出陣
1月6日 松平容保は徳川慶喜に連れられ江戸へ	8月23日 白虎隊士、飯盛山にて白刃城内へ避難を呼びかける
2月4日 容保は喜徳へ家督を譲り隠居	西郷家など白刃者も多数
3月10日 会津藩、軍制改革 玄武・青龍・朱雀・白虎の諸隊へ	8月25日 中野竹子らが敵兵に遭遇し、戦死
4月22日 奥羽列藩同盟結成される のちに越後6藩も加盟	9月14日 敵軍の一斉砲撃開始
5月1日～7月29日 白河城・平城・二本松城など落城	9月22日 会津藩降伏。容保らは妙国寺で謹慎
8月20日 敵軍、母成峠へ進攻開始	9月23日 藩士は猪苗代で謹慎。婦女子らは解放
	翌年5月18日 家老菅野権兵衛が責任をとり白刃

茶室 麟閣



天正19年、千利休は豊臣秀吉の怒りにふれ、死を命じられました。この時、千利休の茶道が途絶えることを惜しんだ会津の領主、蒲生氏郷は、利休の子の少庵を会津に匿い、豊臣秀吉に『千家再興』を願っていました。この結果、少庵は京都へ帰り、千家茶道は少庵の子の宗旦に引き継がれ、その孫により武者小路千家、表千家、裏千家の三千家が興され現在に伝えられています。

この「麟閣」は少庵が会津に匿われていた時、氏郷のために造ったと伝えられており、戊辰戦争後は茶人森川善兵衛宅で大切に保存されてきました。

会津若松市では平成2年、市制90周年を記念し、この麟閣を元の場所へ移築復元し後世へ伝えるものです。

